

アルゼンチン鉄道軌間別延長表 (km)

軌 間 鉄 道 名	軌 間				合 計
	1.676m	1.435m	1.00m	0.75m	
G・ベルグラノ鉄道			14,935		14,935
G・B・ミトレ鉄道	6,726				6,726
パタゴニカ鉄道	584			517	1,101
G・ロカ鉄道	7,688			505	8,193
G・サンマルチン鉄道	4,964				4,964
D・F・サルミエント鉄道	4,486				4,486
G・ウルキーサ鉄道		3,430			3,430
計	24,448	3,430	14,935	1,022	43,835

1 ゼネラル・ベルグラノ鉄道 (Ferrocarril Nacional General Belgrano)

旧アルゼンチン国有鉄道の線路が主体となっている。鉄道網はサンタフェから西部のサンファン、メンドザ、ラリオハおよびカタマルカの諸州に延びている。本線はブエノスアイレスからロザリオ、サンフランシスコ、コルドバおよびツクマンを経て北部の国境ラキアコおよびヤクイバにおいてそれぞれボリヴィアの鉄道と連絡している。またソコンパにおいてチリーの鉄道と連絡している。エンバルカシオンから西北隅のフォルモサにも連絡している。他の本線はロザリオからサンタフェを経てレジステンシアに通じ、またサンタフェからツクマンに達している。

ブエノスアイレス＝ロザリオ間の旅客列車および貨物列車は全部ディーゼル化され、一部はコルドバおよびサンタフェまたはそれ以遠まで運転されている。ブエノスアイレス近郊線ではディーゼル機関車またはディーゼル動車が使用されている。軌条は15ないし41kg、最急勾配(こうばい)は $\frac{1}{26}$ 、曲線半径の最小は120m。

本庁所在地 Avenida Maipu No. 4, Buenos Aires

2 ゼネラル・バルトレメ・ミトレ鉄道 (Ferrocarril Nacional General Bartolomé Mitre)

旧セントラル・アルゼンチン鉄道が主体となっている。レティロ＝ヴィクトリア間は1862年に開通した。本線はブエノスアイレスからロザリオを経て北はツクマン、西はコルドバに通じている。ブエノスアイレス近郊67kmの区間はとくに輸送密度高く、電力は直流825Vが使用されている。軌条は25ないし49.6kg、最急勾配は2.2%、曲線半径の最小は250m。

本庁所在地 Calle Bartolomé Mitre No. 299, Buenos Aires

3 パタゴニカ鉄道 (Ferrocarril Nacional Patagonica)

南部に散在する鉄道で、大西洋岸とアンデス地方を連絡する目的をもって建設され、つぎの4路線より成る。

(1) ボルトマドリン＝ラスブルマス間、267km、軌間0.75m。ラウソンまで支線が通じている。

(2) コモドロリヴァダヴィア＝サルミエント間、298km、軌間1.676m。

(3) ボルトデセアド＝コロニアラスエラス間、286km、軌間1.676m。

(4) リオガレゴス＝リオツルピオ間、250km、軌間0.75m。広軌の軌条は31kgおよび37kg、最急勾配2%、曲線半径の最小は170m。

本庁所在地 Puerto Madryn, Chubut

4 ゼネラル・ロカ鉄道 (Ferrocarril Nacional General Roca)

旧ブエノスアイレス・グレート・サザン鉄道が主体となっ

おり、ブエノスアイレス＝チャスコムス間114kmは1865年に開通した。ブエノスアイレス＝バイアブランカ間には4本の本線が走っている。すなわちバイアブランカから西の国境のサバラに達する線路とパタゴネスを経てバリロチエに延びる線路とである。5両編成のディーゼル動車とともに約50両のディーゼル動車が運転されている。軌条は27.8ないし49.6kgのものが使用され、最急勾配1.25%、曲線半径の最小は219m。

本庁所在地 Gral Hornos, 11, Buenos Aires

5 ゼネラル・サンマルチン鉄道 (Ferrocarril Nacional General San Martin)

この鉄道は旧ブエノスアイレス・パンフィック鉄道のほか、アルゼンチン・グレート・ウェスタン、アルゼンチン・トランサンディン(メンドザ＝ウスパラタ間)、国有鉄道の一部(サンラファエル＝マラルグエ間)、ヴィラマリア・ルフィノ鉄道その他が併合されたものである。本線はブエノスアイレスからメルセデス、ヴィラメルセデス、メンドザ、サンファンに通じている。ブエノスアイレス＝ヴィラメルセデス間は1888年に直通連絡した。メンドザからロスクエバスを経てチリーのヴァルパライソまで大陸横断連絡輸送が行われている。軌条は25ないし49.6kgのものが使用され、最急勾配6.5%、曲線半径の最小は80m。

本庁所在地 Edificio del Pacifico, Florida No. 783, Buenos Aires

6 ドミンゴ・ファウスティノ・サルミエント鉄道 (Ferrocarril Nacional Domingo Faustino Sarmiento)

主体は旧ブエノスアイレス・ウェスタン鉄道で、ほかにバイアブランカ・ノーザン鉄道その他が併合されたものである。本線はブエノスアイレスからサンタローザ、テレン、アリゾナ等に通じている。ブエノスアイレス＝フロレス間は1857年に開通した、アルゼンチン最初の鉄道である。ブエノスアイレス＝モレノ間35.4kmは電化され、電力は直流800Vが使用されている。軌条は25.8ないし49.6kg、最急勾配1.8%、曲線半径の最小は250m。

本庁所在地 Once de Septiembre Station, Buenos Aires

7 ゼネラル・ウルキーサ鉄道 (Ferrocarril Nacional General Urquiza)

旧国有鉄道の一部、ノースイースタン・アルゼンチン鉄道、エントレリオス鉄道その他が併合されたものである。エントレリオス州、コリエンテス州およびミジオネス地方等の農業地帯に通じている。本線はコンコルディアからパラナ、ラバツに延びている。またコンコルディアからコリエンテスおよびボサダスに通じ、ボサダスとパラナ河対岸のパクア間には連絡船が運航され、パラグアイの鉄道と連絡して首都アスンシオンまで直通列車が運転されている。南下してパラナ河岸イビタイに達する本線は対岸のザラテと連絡船により連絡され、ブエノスアイレスまで直通している。軌条は25ないし39.7kg、最急勾配1.28%、曲線半径の最小は183m。

本庁所在地 Concordia Entre Rios

参考文献 Henry Sampson 編 World Railways 1954~55. Tothill Press Ltd. 発行 Directory of Railway Officials and Year Book 1953~54。(光延有三)

アレスター (英) lightning arrester 一般に発変電所は長距離の送電線で連絡されているから、雷による異常電圧の侵入をうけることが多い。常時の使用電圧よりはるかに高い異常電圧が発変電所に侵入すると機器の絶縁を破壊し重大な損失を与える。異常電圧の波高を低くして発変電所の機器を保護するため